

3000 万人をめざす訪日外客マーケットの中でも、訪日リピーター・個人旅行(自由旅行)の比率が高い、台湾および香港の観光客をターゲットとした中国語(繁体字)フリーペーパー。今後は個人ビザ解禁後の中国も視野に入れて展開。

台湾・香港観光客をターゲットとしたフリーペーパー

「att.JAPAN 中国語(繁体字)版」 11 月 30 日(月)発行!

- 日本を知る、見る、歩く、体験するフリーペーパー「att.JAPAN」が、訪日リピーターが多く、個人旅行(自由旅行)の多い台湾および香港に特化して編集。
- 日本で編集しているからこそできる、最新情報や現地密着情報を掲載。
- 台湾の旅行代理店を中心に配布し、香港でも配布予定。

英語・中国語フリーペーパー「att.JAPAN 英語・中国語(繁体字)2言語版」(奇数月10日発行)、および5言語(英語・中国語[繁体字・簡体字]・日本語・韓国語)のウェブサイト「WEB att.JAPAN」(<http://www.att-japan.net>)を発行・運営する株式会社ファイネックス(東京都新宿区、代表取締役社長:桑原信彦)は、台湾と香港からの訪日観光客をターゲットとするフリーペーパー「att.JAPAN 中国語(繁体字)版」を11月30日に台湾で発行します。

同誌は台湾の旅行代理店を中心に配布をします。また、香港においても配布予定です。現地での訪日需要の喚起や旅行代理店の販促に役立てるとともに、掲載した旅館などの宿泊施設や観光施設、店舗などの誘客効果をねらいます。

国別訪日外客数で上位を占める台湾と香港は、親日的で訪日リピーター率が高く、また個人旅行(自由旅行)が多いため、本誌では観光地情報や東京のディープな町歩き情報、日本のやど情報、温泉情報などを含め、日本の旬の情報や最新情報、あるいは現地密着情報などを掲載し、個人旅行者の訪日旅行の行程検討や日本での行動を支援する情報を提供します。

創刊号では、スキーシーズンを前に「日本のスノーリゾート」を巻頭で特集。「雪」に大変憧れの強い台湾と香港の人々に訴求し、旅行需要を喚起することをねらいます。

同誌の記事はすべてウェブサイト「WEB att.JAPAN」(<http://www.att-japan.net>)にて、英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、韓国語、日本語の5言語で見ることができます。また、同誌の「日本のスノーリゾート」特集および「日本のやど」に掲載された宿泊施設の情報は、ウェブサイト「日本のやど」(<http://www.japan-ryokan.net>)に転載されます。

創刊号の発行部数は2万部です。

訪日外国人マーケットは景気低迷や円高の継続などで停滞しているものの、来年10月に予定されている羽田空港拡張による国際線発着枠の拡大や、日本政府の推進する『ビジット・ジャパン・キャンペーン』などにより、今後中長期的には拡大基調にあると見られています。

このような環境において、今年7月の中国からの個人観光ビザ解禁などにより、富裕層などの観光客の増加が期待されていますが、FITといわれる個人旅行(自由旅行)では、現在は台湾と香港が主力のマーケットであるため、現地で使用される中国語(繁体字)で編集を行っております。

なお、中国マーケットにおいては、すでにインターネットサイト制作・運営の株式会社イトクロ(東京都港区、代表取締役:黒岩剛史、山木学)と提携し、今年7月10日より、イトクロの運営する中国人向け日本情報ポータルサイト「JAPAN 在線(ジャパンザイシェン)」(<http://www.japan-zaixian.cn/>)にて、中国語(簡体字)でのコンテンツ提供を開始しており、今後、中長期的な視野での展開を進めていきます。

「att.JAPAN 英語・中国語（繁体字）2言語版」は、首都圏および全国主要都市のホテル、観光案内所、大使館、空港外国人旅行者デスク、書店、旅行代理店、レストランの他、在日米軍基地や海外 59 都市でも配布され、多くの外国人に利用されるほか、ホテルのコンシェルジュや観光案内所スタッフからも「日本を案内するツール」として高い評価を得ているフリーペーパーです。英語と中国語（繁体字）の 2 言語で表記され、記事はすべてウェブサイト「WEB att.JAPAN」(<http://www.att-japan.net>)にて、英語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、韓国語、日本語の 5 言語で転載されています。

「att.JAPAN 中国語（繁体字）版」発行により、台湾・香港の販促と需要喚起が期待されます。

■「att.JAPAN 中国語（繁体字）版」について

【媒体概要】

体裁： A4 判（24P）

発行部数：20,000 部（隔月刊 2号より奇数月 20日発行予定[20日が休日の場合翌日]）

配布場所：台湾、香港の旅行代理店など



att.JAPAN 中国語（繁体字）版

■「att.JAPAN 英語・中国語（繁体字）2言語版」について

【媒体概要】

体裁： A4 判（48P）

発行部数：100,000 部（隔月刊 奇数月 10日発行[10日が休日の場合、翌日]）

配布場所：首都圏及び全国主要都市、並びに海外 59 都市

主要ホテル、観光案内所、大使館、空港外国人旅行者デスク、書店、旅行代理店、レストラン、等。一部ホテルでは客室に設置。

主要読者：訪日外国人および在日外国人



att.JAPAN 英語・中国語（繁体字）2言語版

■株式会社ファイネックス 会社概要

商号：株式会社ファイネックス（FINEX CO., LTD.）

設立：2000年4月7日

資本金：4,000万円

代表取締役：桑原 信彦

所在地：〒160-0008 東京都新宿区三栄町8番地 第一萬寿ビル4階

TEL：03-5368-4781

FAX：03-5368-4782

URL：<http://www.finex.co.jp>

加盟団体：独立行政法人 日本政府観光局(JNTO)、

財団法人 東京観光財団(TCVB)、財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 各会員

事業内容：

(1)メディア事業

- ・フリーペーパーatt.JAPAN 「英語・中国語（繁体字）2言語版」・「中国語（繁体字）版の発行」
- ・多言語（5言語）日本紹介ポータルサイト「WEB att.JAPAN」(www.att-japan.net)の運営
- ・外国人向け日本のやど紹介サイト「WEB 日本のやど」(www.japan-ryokan.net)の運営

(2)インバウンド事業

- ・多言語パンフレット・ウェブサイト・メールマガジン制作・配信
- ・インバウンドコンサルティング

(3)海外マーケティング事業

- ・海外メディアへの広告代理業務
- ・海外検索エンジンへのウェブサイト登録

(4)翻訳事業

- ・英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語並びにその他言語の翻訳

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ファイネックス

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8番地 第一萬寿ビル 4F

TEL: 03-5368-4781

FAX: 03-5368-4782

担当/ 広報グループ 松田 行良 matsuda@finex.co.jp 編集長 原 陽子 yokohy@finex.co.jp